

水道事業会計〔上下水道事務所 上下水道課 所管〕

1. 概 要

守谷市の水道事業は、昭和46年に旧守谷地区の一部を給水区域として簡易水道事業が発足した。昭和53年には上水道事業に移行し、順次給水区域を拡大して、昭和63年3月には配水管網の整備を完了した。その後も安定給水のため取水施設や配水施設を整備し、現在に至っている。

平成31年度も、茨城県企業局が行う県南広域水道用水供給事業(利根川浄水場)からの浄水受水と、井戸から汲み上げた地下水を浄水して、安定した給水に努める。水道施設の運転・維持管理については、引き続き民間企業による包括管理で行う。さらに、上水道管路台帳及び設備台帳を活用した効率的な施設の維持管理に努めるとともに、計画的に鉛製給水管や老朽管の布設替工事を実施する。

2. 収益的収入及び支出

(収入)

(単位：千円，％)

款	項	31年度	構成比	30年度	構成比	増減額	増減率
水道事業収益	営業収益	1,397,648	87.8	1,359,091	86.9	38,557	2.8
	営業外収益	194,276	12.2	204,049	13.1	△ 9,773	△ 4.8
	特別利益	3	0.0	3	0.0	0	0.0
収入合計		1,591,927	100.0	1,563,143	100.0	28,784	1.8

(支出)

(単位：千円，％)

款	項	31年度	構成比	30年度	構成比	増減額	増減率
水道事業費用	営業費用	1,513,314	97.5	1,501,553	96.6	11,761	0.8
	営業外費用	35,308	2.3	48,788	3.1	△ 13,480	△ 27.6
	特別損失	758	0.0	758	0.1	0	0.0
	予備費	3,000	0.2	3,000	0.2	0	0.0
支出合計		1,552,380	100.0	1,554,099	100.0	△ 1,719	△ 0.1

3. 資本的収入及び支出

(収入)

(単位：千円，％)

款	項	31年度	構成比	30年度	構成比	増減額	増減率
資本的収入	他会計負担金	0	0.0	972	82.9	△ 972	皆減
	他会計補助金	140	99.3	200	17.1	△ 60	△ 30.0
	工事負担金	1	0.7	0	0.0	1	皆増
収入合計		141	100.0	1,172	100.0	△ 1,031	△ 88.0

(支出)

(単位：千円，％)

款	項	31年度	構成比	30年度	構成比	増減額	増減率
資本的支出	建設改良費	307,141	98.3	134,270	93.6	172,871	128.7
	企業債償還金	5,309	1.7	9,243	6.4	△ 3,934	△ 42.6
	工事負担金返還金	1	0.0	0	0.0	1	皆増
支出合計		312,451	100.0	143,513	100.0	168,938	117.7

《収益的收入》

1 営業収益

○給水収益 1,319,350 千円 予算書 P. 375

区 分			31年度	30年度	増 減	増減率 (%)
総調定件数		件	169,290	165,090	4,200	2.5
内訳	定例分	件	166,290	162,090	4,200	2.6
	随時分	件	2,700	2,700	0	0.0
	仮設分	件	300	300	0	0.0
総有収水量 (A)		m ³	6,477,800	6,390,800	87,000	1.4
内訳	定例分	m ³	6,458,000	6,371,000	87,000	1.4
	随時分	m ³	15,000	15,000	0	0.0
	仮設分	m ³	4,800	4,800	0	0.0
予算額 (B)		千円	1,319,350	1,289,014	30,336	2.4
内訳	定例分	千円	1,313,799	1,283,596	30,203	2.4
	随時分	千円	4,087	3,969	118	3.0
	仮設分	千円	1,464	1,449	15	1.0
供給単価 (B/A)		円	203.67	201.70	1.97	1.0

* 積算根拠

定例分 6,458,000 m³ × 203.43 円 (供給単価) ≒ 1,313,799 千円

随時分 15,000 m³ × 272.46 円 (供給単価) ≒ 4,087 千円

仮設分 4,800 m³ × 305.00 円 (供給単価) = 1,464 千円

※定例分の積算結果は、供給単価の一銭未満を切り捨てているため差異が生じます。

○受託事業収益 42,923 千円 予算書 P. 375

(単位：千円，%)

区 分	31年度	30年度	増減額	増減率
下水道使用料徴収事務受託収入 (事務経費の1/2負担)	42,923	40,114	2,809	7.0
上下水道料金徴収事務経費	85,846	80,228	5,618	7.0
参考：水道事業会計負担分 (事務経費の1/2負担)	42,923	40,114	2,809	7.0

* 積算根拠

料金用封筒印刷代 64,800 円 × 1/2 ≒ 32 千円

口座振替依頼書等印刷代 108,000 円 × 1/2 = 54 千円

上下水道料金納付書郵送料 4,550,998 円 × 1/2 ≒ 2,276 千円

徴収業務委託料 74,490,600 円 × 1/2 ≒ 37,245 千円

コンビニ収納委託料 1,765,800 円 × 1/2 ≒ 883 千円

クレジット収納委託料 2,931,434 円 × 1/2 ≒ 1,466 千円

口座振替手数料 1,933,552 円 × 1/2 ≒ 967 千円

合 計 42,923 千円

2 営業外収益

○分担金収入 64,040 千円 予算書P. 375

区 分		31年度	30年度	増 減	増減率 (%)
新規加入者	箇所	160	280	△ 120	△ 42.9
マンション	箇所	135	0	135	皆増
予 算 額	千円	64,040	60,480	3,560	5.9

＊ 積算根拠

新規加入者(口径20mm) 80箇所×216,000円(消費税 8%含む) = 17,280千円
 80箇所×220,000円(消費税10%含む) = 17,600千円
 マンション 135箇所×216,000円(消費税 8%含む) = 29,160千円

《収益的支出》

1 営業費用

○原水及び浄水費 729,850 千円 予算書P. 376

[水道事業収益: 729,850 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

利根川浄水場からの浄水受水と地下水浄水により、水道水を安定的に確保する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

利根川浄水場から浄水を年間契約水量に基づき受水する。また、浄水施設の運転管理、維持管理を包括管理委託により効率的に行うとともに、地下水(井戸水)浄水の水質検査を水道法に基づき業務委託により行う。また、平成32年度から浄水施設の運転を取り止めることに伴い、借地している井戸施設を撤去するため、業務委託により実施設計を行う。

- | | | |
|---------|---------------|--|
| (1) 委託料 | 浄水場包括管理委託料 | 74,267 千円 |
| | 排水池汚泥清掃委託料 | 15,696 千円 |
| | 水質検査委託料 | 3,313 千円 |
| | 井戸施設撤去実施設計委託料 | 16,478 千円 |
| | 井戸施設撤去調査委託料 | 43 千円 |
| (2) 受水費 | 基本料金 | 167,184 千円 (契約水量20,000m ³ ×1,290円/m ³ × 6月×1.08)
170,280 千円 (契約水量20,000m ³ ×1,290円/m ³ × 6月×1.10) |
| | 使用料金 | 139,633 千円 (使用水量15,700m ³ /日×45円/m ³ ×183日×1.08)
142,219 千円 (使用水量15,700m ³ /日×45円/m ³ ×183日×1.10) |
| (3) その他 | 修繕費ほか | 737 千円 |



深井戸

○配水及び給水費 219,052 千円 予算書P. 377

[その他: 30,591 千円 水道事業収益: 188,461 千円]

※その他積算根拠

[負担金: 消火栓維持管理負担金 22,054 千円]

[負担金: 事業運営経費負担金 8,537 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

配水・送水施設等を適正に管理して、水道水を安定的に供給する。また、定期的な水質検査を行い、水道水の安全性を確保する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

配水池・配水ポンプなどの配水・送水施設の運転管理、維持管理を包括管理委託により効率的、かつ効果的に行う。また、引き続き老朽化した消火栓や鉛製給水管を計画的に取り替えるとともに、効率的な維持管理のために電子化した上下水道管路台帳を業務委託により適正に管理し、水道法に基づき配水の定期的な水質検査を業務委託により行う。

(1) 委託料	浄水場包括管理委託料	53,496 千円
	水質検査委託料	4,771 千円
	上下水道管路管理システム委託料	5,060 千円
	給水管設計委託料	1,903 千円
	老朽管更新計画策定委託料	10,230 千円
(2) 修繕費	給水管維持修繕費	3,435 千円
	給水管布設替工事費	63,020 千円
	配水管維持修繕費	4,570 千円
	消火栓維持修繕費	21,582 千円
	包括管理修繕費	11,914 千円
	量水器費	19,743 千円
	量水器取替費	14,405 千円
(3) その他	材料費ほか	4,923 千円



配水池

○受託事業費 42,923 千円 予算書P. 377

[その他: 42,923 千円]

※その他積算根拠

[受託事業収益: 下水道使用料徴収事務受託収入 42,923 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

適正な経理を行うため、下水道使用料徴収事務に係る経費負担を明確に区別する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

上下水道料金徴収委託料の経費のうち、公共下水道事業会計及び農業集落排水事業特別会計が負担する額を計上する。

(1) 委託料	下水道使用料徴収事務受託委託料	42,923 千円
---------	-----------------	-----------

○総係費 162,659 千円 予算書P. 378

[その他: 1,945 千円 水道事業収益: 160,714 千円]

*その他積算根拠

[負担金: 事業運営経費負担金 1,609 千円]

[補助金: 児童手当給付補助金 336 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

適正な経理を行うため、料金徴収事務を業務委託で実施する。また、安定した事業の継続と効率的な運営を図るため、事業計画等に基づき業務委託により効率的に実施する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

事業経営に必要な委託料、電気料、物件費及び人件費等の経費を計上する。

(1) 委託料	上下水道料金徴収委託料	37,246 千円
	水道設備・資産管理システム構築委託料	5,742 千円
	その他委託料	3,339 千円
(2) 手数料	上下水道料金口座振替手数料ほか	1,030 千円
(3) 修繕費	施設建物修繕費ほか	5,488 千円
(4) 動力費	浄水場電気料	32,554 千円
(5) その他	職員給与費ほか	77,260 千円

2 営業外費用

○支払利息 1,096 千円 予算書P. 382

[水道事業収益: 1,096 千円]

(単位: 千円)

区分	30年度末 残高見込額 (利息) (A)	31年度償還額			31年度末 残高見込額 (利息) (A - B)
		元 金	利息 (B)	計	
上水道事業債	4,878	5,309	1,096	6,405	3,782

3 特別損失

○過年度損益修正損 757 千円 予算書P. 382

[水道事業収益: 757 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

水道料金等の債権を適正に管理する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

漏水減免等の事実の発生に基づき、決算された収入額を減額修正し、収納状況に応じて還付する。

・過年度調定修正額	水道料金	324 千円
	分 担 金	432 千円
・貸倒損失		1 千円

《資本的支出》

1 建設改良費

○上水道建設費 304,286 千円 予算書P. 383

[その他: 141 千円 過年度分損益勘定留保資金等: 304,145 千円]

*その他積算根拠

[補助金: 児童手当給付補助金 140 千円]

[負担金: 配水管布設工事負担金 1 千円]

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

水道利用者に対して安全・安心な水道水を継続的に供給するため、水道施設の建設又は改良を行う。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

都市計画道路坂町清水線の改良工事に合わせて、配水管の布設工事を実施するとともに、配水管の耐震性を強化するため、老朽管の布設替工事を実施する。また、老朽化した配水施設(次亜塩素素注入施設)の改築更新工事を実施する。

(1) 委託料	配水管工事設計委託料	16,027 千円
(2) 工事請負費	配水管布設工事費	47,850 千円
	配水管布設替工事費	130,673 千円
	配水施設改築更新工事	98,725 千円
(3) その他	職員給与費ほか	11,011 千円



H31上水布設替第1号工事
(御所ヶ丘地内)



配水管布設替工事

2 企業債償還金

○企業債償還金(元金) 5,309 千円 予算書P. 384

[積立金: 5,309 千円]

(単位: 千円)

区 分	30年度末 残高見込額 (元金) (A)	31年度償還額			31年度中 借入予定額 (C)	31年度末残高 見込額(元金) (A - B + C)
		元金(B)	利 息	計		
上水道事業債	45,053	5,309	1,096	6,405	0	39,744

企業債の借入利率別現在高の状況(31年度末見込・元金)

区 分	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下	3.5%以下	3.5%超	計
残高(千円)	7,765	14,045	8,636	9,298	0	39,744
件数(件)	4	7	5	3	0	19